KJS

京都社会学年報

第 1 号
1994 年 3 月

《論　文》

カリスマ的関係について ── 非対称的関係の転倒 ──　水垣源太郎

国定修身書における二つの家族像
── 「小さく不完全な大人」と「子ども」の併存 ──　中里　英樹

デュルケームの儀礼論への一視角
── 二つの規範と「社会」の実在性 ──　小川　伸彦

政治的実践における目標選定の合理性
── 科学主義とハーバーマスの議論を中心に ──　城　達也

農業用排水システムの変遷と生活経験
── 常楽寺地区の水との付き合い ──　塚本　利幸

モースにおける「全体性」の検討
── 『贈与論』を契機として ──　藤吉　圭二

《書　評》

リン・ハントの政治文化論
Hunt, L., *The Family Romance of the French Revolution.*　田野　大輔

エトニーとネーションの系譜学
Smith, A. D., *The Ethnic Origins of Nations.*　筒井　清輝

エスノグラフィー生産技術(レトリック)の解剖
Atkinson, P., *The Ethnographic Imagination.*　野崎　賢也

1

京都大学文学部社会学研究室

［編集規定］

1．本誌は京都大学文学部社会学研究室（社会学・社会人間学・比較社会学講座）の機関誌として、年１回発行する。

2．1）本誌の編集は、「京都社会学年報」編集委員会の責任のもとに行われる。

2）編集委員会は本研究室の教官および大学院生代表者により構成される。

3）編集委員会に関するその他の細目は別に定める。

3．本誌には、研究論文のほかに、書評論文、資料等の欄を設ける。

4．1）本誌の投稿者は、原則として京都大学文学部社会学研究室（社会学・社会人間学・比較社会学講座）に所属する専任および非常勤の教官、ならびに大学院生・研修員、研究生とする。

2）投稿に関する細目は別に定める。

5．論文等は、未公刊のものに限る。

6．論文等は、編集委員会によって審査され、その掲載について検討される。

7．1）論文等の原稿は、所定の執筆要項に準拠したものに限る。

2）執筆要項は別に定める。

京都社会学年報

第 1 号

京都大学文学部社会学研究室　　1994 年 3 月

目　次

〈論　文〉

カリスマ的関係について ── 非対称的関係の転倒 ── 　水垣源太郎　1

国定修身書における二つの家族像
── 「小さく不完全な大人」と「子ども」の併存 ── 　中里　英樹　13

デュルケームの儀礼論への一視角
── 二つの規範と「社会」の実在性 ── 　小川　伸彦　31

政治的実践における目標選定の合理性
── 科学主義とハーバーマスの議論を中心に ── 　城　達也　49

農業用排水システムの変遷と生活経験
── 常楽寺地区の水との付き合い ── 　塚本　利幸　63

モースにおける「全体性」の検討
── 『贈与論』を契機として ── 　藤吉　圭二　83

〈書　評〉

リン・ハントの政治文化論
Hunt, L., *The Family Romance of the French Revolution.* 　田野　大輔　97

エトニーとネーションの系譜学
Smith, A. D., *The Ethnic Origins of Nations.* 　筒井　清輝　105

エスノグラフィー生産技術（レトリック）の解剖
Atkinson, P., *The Ethnographic Imagination.* 　野崎　賢也　113

<執筆者紹介>（掲載順）

水垣源太郎	博士後期課程1年次	宗教社会学とくにウェーバーを中心とした理論研究およびその視点を用いた経験的研究（教団・教祖研究および日蓮論や呪術論など）。
中里　英樹	博士後期課程1年次	家族社会学とくに近代日本の家族観をさまざまなレベルの言説資料をもちいて描き出す歴史社会学的研究。
小川　伸彦	助手	文化社会学および宗教社会学とくにデュルケームの儀礼論・集合表象論を用いた集団のアイデンティティ形成過程の分析（「制度としての文化財」『ソシオロジ』110号1991年、「マイノリティー組織のエスニシティー」〔寺岡伸悟と共同執筆〕『社会学評論』174号、1993年）。
城　　達也	研修員・日本学術振興会特別研究員	知識社会学とくにハーバーマスを中心としたドイツ社会(科)学における諸論争の検討をとおして知識と実践の関係を問う（「対話的実践をめざして――ハーバーマスにおける理論と政治の媒介」『ソシオロジ』110号、1991年、「クルト・ゾントハイマー――二つのドイツ共和国とその知識人たち」、『新聞学』第11号、1992年）。
塚本　利幸	博士後期課程3年次	社会学理論とくにシュッツの生活世界論の理論的研究およびこの視点と地域の環境問題との接合。
藤吉　圭二	博士後期課程1年次	フランス社会学とくにモースの『贈与論』にかんする理論研究およびその経済・労働社会学上の今日的意義の研究。
田野　大輔	修士課程1年次	政治社会学とくに権力論・政治文化論的視点からの理論研究および歴史的事象（ナチズムなど）の分析（「第三帝国における『民族共同体』――意味空間の政治文化論的考察」『ソシオロジ』119号、1994年）。
筒井　清輝	修士課程1年次	政治社会学とくにナショナリズム現象を包括的にとらえる有効な理論枠組の研究および比較歴史社会学的視点からの経験的分析（「ナショナリズム概念の再構成――エトノシズム・ナショナリズム・スタトゥシズム」『ソシオロジ』119号、1994年）。
野崎　賢也	修士課程1年次	社会意識論とくに近代日本の農村社会のエートスにかんする歴史社会学的研究（農本主義や自然観の問題など）。

京都社会学年報　第1号

1994年3月31日発行

編　集　京都社会学年報編集委員会
（編集代表　宝月　誠）

発　行　京都大学文学部社会学研究室
〒606-01　京都市左京区吉田本町
TEL 075-753-2751・2749　FAX 075-753-2836

製　作　㈱北斗プリント社
〒606　京都市左京区下鴨高木町38の2
TEL 075-791-6125

《Editorial Regulations》

1. This journal is an annual publication of the Department of Sociology, Faculty of Letters, Kyoto University, Kyoto, Japan.

2. i) This jounal is edited by the Editorial Board of the Kyoto Journal of Sociology.

   ii) The Board consists of the professors and postgraduates of the Sociology Department.

   iii) Details of the regulations of the Board are specially provided.

3. Contributions to this journal may be in the form of articles, review essays, etc.

4. i) Contributors are generally limited to professors and postgraduates of the Department of Sociology, Faculty of Letters, Kyoto University.

   ii) Guidelines for contributors are specially provided.

5. Contributions are limited to previously unpublished articles.

6. Review of contributions is carried out by the Editorial Board.

7. i) Manuscripts submitted for review must follow the writing guidelines for contributors.

   ii) The writing guidelines for contributors are specially provided.

KJS

Kyoto Journal of Sociology

No. 1 March 1994

ARTICLES

On the Conception of the Reversed Asymmetrical Charismatic Relationship — Gentaro MIZUGAKI

Family Images in Modern Japan: Two Types from the Text-books on Morals — Hideki NAKAZATO

A Reinterpretation of Durkheim's Theory of Ritual: Two Types of Norms and the Reality of *Société* — Nobuhiko OGAWA

Zur Diskussion um die Rationalität der politischen Praxis; im besonderen Hinblick auf den Szientismus und J. Habermas' Lehre — Tatsuya JO

The Change of Water Facility for Farming and the Experience of Everyday Life: The Relation between Farmers and Water in Jourakuji — Tosiyuki TSUKAMOTO

The Concept of 'Totality' in the Thought of Marcel Mauss — Keiji FUJIYOSHI

REVIEW ESSAYS

Hunt, L., *The Family Romance of the French Revolution.* — Daisuke TANO

Smith, A. D., *The Ethnic Origins of Nations.* — Kiyoteru TSUTSUI

Atkinson, P., *The Ethnographic Imagination.* — Kenya NOZAKI

Department of Sociology, Faculty of Letters,
Kyoto University, Kyoto, 606-01, Japan

1